

Novell Vibe Add-In Readme

2012年6月5日

Novell®

1 製品の概要

Novell Vibe Add-in を使用すると、Microsoft Office から離れることなく、Vibe サイト上で Microsoft Office ドキュメントを処理することができます。Microsoft Office から直接、簡単に、Vibe サイト上にあるドキュメントをブラウザして、ドキュメントを開き、編集してから、Vibe サイトに保存し直すことができます。

Microsoft Word、Excel、または PowerPoint ドキュメントから直接作業することができます。

2 Vibe Add-In のシステム要件

- ◆ [1 ページのセクション 2.1 「Office の要件」](#)
- ◆ [1 ページのセクション 2.2 「オペレーティングシステム要件」](#)
- ◆ [1 ページのセクション 2.3 「Vibe の要件」](#)

2.1 Office の要件

Novell Vibe Add-in は、次のバージョンの Microsoft Office でサポートされています。

- ◆ Microsoft Office 2010、最新のサポートパック付き
- ◆ Microsoft Office 2007、最新のサポートパック付き

2.2 オペレーティングシステム要件

Novell Vibe Add-in は、次のバージョンの Windows オペレーティングシステムに対してサポートされています。

- ◆ Windows XP SP3 32 ビット以降
- ◆ Windows Vista SP2 32 ビットまたは 64 ビット以降
- ◆ Windows 7 SP1 32 ビットまたは 64 ビット以降

2.3 Vibe の要件

接続先の Vibe システムは、Novell Vibe 3.3 以降である必要があります。

3 Vibe Add-In の問題点

- ◆ 2 ページのセクション 3.1 「.NET Framework をインストールした後に、インストーラが自動的に再起動しない」
- ◆ 2 ページのセクション 3.2 「エントリの説明に埋め込まれたイメージが表示されない」
- ◆ 2 ページのセクション 3.3 「Windows 認証を使用して Vibe サーバを設定するときに、Vibe Add-In が機能しない」

3.1 .NET Framework をインストールした後に、インストーラが自動的に再起動しない

ワークステーションに .NET Framework がまだインストールされていない場合、Vibe Add-in インストールプログラムは、.NET Framework をインストールします。.NET Framework をインストールする際には、ワークステーションの再起動が必要になります。ワークステーションを再起動した後、Vibe Add-in インストールプログラムを手動で再起動する必要があります。

- 1 VibeAddinSetup.exe ファイルがダウンロードされた場所に移動します。
- 2 VibeAddinSetup.exe ファイルを実行します。

3.2 エントリの説明に埋め込まれたイメージが表示されない

Vibe Add-in を使用して Microsoft Office のエントリを表示するときに、そのエントリの *Description* セクションに埋め込まれたイメージが、破損したものとして表示されます。ただし、Microsoft Office のエントリの説明のテキストは、引き続き Vibe Add-in を使用して編集できます。

3.3 Windows 認証を使用して Vibe サーバを設定するときに、Vibe Add-In が機能しない

Windows 認証を使用して Vibe サーバを設定する場合は、ポートの競合のため、Vibe Add-in で Vibe サイトのファイルを開いたり編集したりすることはできません (Vibe サイトに対する Windows 認証の構成の詳細については、『[Novell Vibe 3.3 インストールガイド](#)』の「[Configuring Single Sign-On with Internet Information Services for Windows](#)」を参照してください)。

4 Vibe Add-In のマニュアル

Novell Vibe Add-in のインストール、設定、および使用方法の詳細については、『[Novell Vibe Add-In Quick Start \(http://www.novell.com/documentation/vibe33/vibe33_qs_office/data/vibe33_qs_office.html\)](http://www.novell.com/documentation/vibe33/vibe33_qs_office/data/vibe33_qs_office.html)』を参照してください。

ユーザが Novell Vibe Add-in を使用して Vibe ドキュメントを編集できるようにする方法については、『[Novell Vibe 3.3 管理者ガイド](#)』の「[Configuring Vibe Desktop and the Microsoft Office Add-In](#)」を参照してください。

5 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2011-2012 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。